



せたがや区議会だより

No.192

平成15年(2003年)11月16日
発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27
TEL (5432) 1111 代表 FAX (5432) 3030
http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/

平成14年度決算を認定—第3回定例会開催—

議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から46件の案件が提出され、すべて原案どおり可決しました。

●14年度各会計決算の認定 5件
○一般会計

賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生弁、政策、社民、虹、無所属
反対：共産、反政、無党派

○国民健康保険事業会計
賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生弁、政策、社民、虹、無所属
反対：共産、反政、無党派

○老人保健医療会計
賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生弁、政策、社民、虹、無所属
反対：共産、反政、無党派

賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生弁、政策、社民、虹、無所属
反対：共産、反政、無党派

○介護保険事業会計
賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生弁、政策、社民、虹、無所属
反対：共産、反政、無党派

○中学校給食費会計
賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生弁、政策、社民、虹、無所属
反対：共産、反政、無党派

○関連記事は6、7ページに掲載
●15年度各会計補正予算 6件
○一般会計(第二次)

賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生弁、政策、社民、虹、無所属
反対：共産、反政、無党派

○中学校給食費会計(第一次)
賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生弁、政策、社民、虹、無所属
反対：共産、反政、無党派

○中学校給食費会計(第二次)
賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生弁、政策、社民、虹、無所属
反対：共産、反政、無党派



馬事公苑日本庭園にて

○一般会計(第三次) (全員賛成)

○国民健康保険事業会計(第一次)
賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生弁、政策、社民、虹、無所属
反対：共産、反政、無党派

○老人保健医療会計(第一次)
賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生弁、政策、社民、虹、無所属
反対：共産、反政、無党派

○介護保険事業会計(第二次)
賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生弁、政策、社民、虹、無所属
反対：共産、反政、無党派

○中学校給食費会計(第一次)
賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生弁、政策、社民、虹、無所属
反対：共産、反政、無党派

○中学校給食費会計(第二次)
賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生弁、政策、社民、虹、無所属
反対：共産、反政、無党派

○一般会計(第二次)
賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生弁、政策、社民、虹、無所属
反対：共産、反政、無党派

●15年度各会計補正予算 6件
○一般会計(第二次)
賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生弁、政策、社民、虹、無所属
反対：共産、反政、無党派

○組織条例(全員賛成)
○支所設置条例(全員賛成)
以上2件は、法改正に伴い規定を整備した。

○職員退職手当条例(全員賛成)
就業促進手当の創設に伴い規定を整備した。

○美術館条例(全員賛成)
清川泰次記念ギャラリー(成城2-22-17)を美術館分館として設置すると共に、向井潤吉アトリエ館を美術館分館に位置付けたことなど。

○美術館美術品等収集委員会条例(全員賛成)
美術館条例の改正に伴い規定を整備した。

○ひとり親家庭の医療費助成条例
賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生弁、政策、社民、虹、無所属
反対：共産

○母子福祉応急小口資金貸付条例(全員賛成)
法改正に伴い、所得制限を変更する。

○女性福祉資金貸付条例(全員賛成)
以上2件は、法改正に伴い規定を整備した。

○地区計画区域内の建築物制限条例(全員賛成)
奥沢2・5丁目北地区の区域内の制限を変更したことなど。

○自転車条例
賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生弁、政策、社民、虹、無所属
反対：共産

○区立駐輪場の時間きめによる使用について定めた。
○学校設置条例
賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生弁、政策、社民、虹、無所属
反対：共産

○清掃・リサイクル条例(全員賛成)
○パーソナルコンピュータの排出方法について定めたことなど。

○条例の廃止
○私立高入学資金融資あつ旋条例
賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生弁、政策、社民、虹、無所属
反対：共産

○当該制度を廃止した。
○工事請負契約の締結 1件
○仮称奥沢障害者通所施設新築工事請負契約(全員賛成)

○契約金額三億三二七万五千円
○工事概要：鉄筋コンクリート造、地下1階地上2階建(食堂、調理室、事務室、相談室、共同会議室、作業指導室5、医務室、更衣室など)

○人権擁護委員候補者の推薦 1件(全員賛成)
次の候補者を法務大臣あてに推薦することとした。

○公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

○特別区道路線の認定 15件

○特別区道路線の廃止 3件(全員賛成)

○専決処分の承認 1件

○区長等給料の特例条例

所在地	延長(m)
梅丘2-21	60・37
上祖師谷2-19	74・56
上祖師谷6-6	83・63
上祖師谷6-6	96・25
上祖師谷6-6	61・75
上祖師谷6-6	105・63
上祖師谷6-11	72・34
上祖師谷6-11	67・39
上祖師谷6-11	63・60
上祖師谷6-15	69・38
上祖師谷6-16	72・40
上祖師谷6-16	69・38
上祖師谷6-10	106・52
上祖師谷6-10	134・96
上祖師谷6-7	112・41
上祖師谷6-5	281・86
上祖師谷6-5	281・86

所在地	延長(m)
鎌田3-21	25・43
上祖師谷6-10	256・26
上祖師谷6-10	256・26
上祖師谷6-6	178・45
上祖師谷6-6	178・45

所在地	延長(m)
上祖師谷6-10	256・26
上祖師谷6-10	256・26
上祖師谷6-6	178・45
上祖師谷6-6	178・45

8ページへ続く

代表質問

自由民主党世田谷区議員

大場 康宣議員

都区財調制度改善の取り組み

質問 自治権の拡充には財政基盤の強化が不可欠だ。都区財調制度では、区民の納めた税金が区の施策に十分生かされるよう、交付額の算定方法などを改めよ。

区長 各区の自主性が引き出されるよう制度の見直し作業を進める。清掃事業の主体的な展開

質問 区長会は、清掃工場未設置区での工場新設の中止の方針を決めた。これは自区内処理の原則を覆すものだが、区は夜間収集など独自の清掃事業の展開を図れ。

区長 区民の目線で事業を行い身近な自治体としての責任を果たす。職員定数の削減

質問 行政サービスは真に必要なものに限定し、小さな政府を実現すべきだ。新たな定員適正化計画を定め職員数の削減を一層進めよ。

区長 新しい基本計画の策定に合わせて計画目標を定めたい。安全・安心な世田谷の実現

質問 多発する犯罪の防止に区も積極的に取り組むべきだ。24時間安全パトロールに加え、区民との協働による防犯対策も推進せよ。

生活文化部長 区民やNPOと協働し効果的な施策を展開する。防災まちづくりの推進

質問 太子堂の火災では、道幅が狭いため消防車が現場に近づけず被害が拡大した。今後は、災害に弱い木造住宅密集地域を具体的に指定し、改善を急げ。

誘発する。区民の不安を払拭するため落書き根絶に強力に取り組め。

助役 環境対策室長 条例で罰則を定めるなど抑止力強化に努める。歩行喫煙の規制

質問 歩行喫煙は他の歩行者のやけどや火災などの原因となり危険だ。他自治体の例も参考に、実効性ある規制策を講じよ。

助役 環境対策室長 路上禁煙地区を指定し取り組みたい。ハローワークの誘致

質問 渋谷のハローワーク利用者の多くは世田谷区民だ。身近な場所就職相談が受けられるよう区内に誘致せよ。

産業振興部長 実現に向け、精力的に検討していきたい。観光振興によるにぎわいの創出

質問 世田谷の豊富な緑や文化施設を生かし地域の活性化を図るべきだ。観光都市の観点から施策を展開し、にぎわいの創出に努めよ。

助役 区民や産業界と幅広く協働しながら取り組んでいく。総合的な子育て支援策の推進

質問 少子化対策の充実は喫緊の課題だ。次世代育成の行動計画に民間活用を明確に位置付け、子育て支援策を積極的に推進せよ。

助役 総合的な子ども家庭支援策を進めるための計画を策定する。基本健康診査のデータ活用

質問 生活習慣病の予防には生活実態の把握が重要だ。基本健康診査で得たデータを資料として活用し、区民の健康づくりに役立てよ。

保健所長 貴重なデータであり、活用方法について検討していく。教育改革の取り組み

区長 改革を実効性あるものとする教育ビジョンを策定する。

助役 幼児教育の転換

質問 私立幼稚園を補完する役割を終えた区立園は廃止すべきだ。区は幼児教育のあり方を改め、私立園などとの連携によりすべての幼児を対象とした教育に転換せよ。

教育長 関係者の意見を参考にしながら総合的に判断していく。ごみの夜間収集の早期実現

質問 ごみの夜間収集は、作業自体がパトロールの役割を果たす上、カラスによるごみの散乱も防止できる。清掃工場の受入れ態勢などの課題を解決し、早急に実施せよ。

助役 民間による実施も視野に入れ、実現に向け取り組む。区立保育園の民営化

質問 保育サービスの質を向上させ、夜間保育など多様なニーズに応えていくためには、区立保育園の民営化を判断すべきだ。具体的な手順を示して取り組め。

助役 10月頃を目途に、区立保育園の民営化方針案を示したい。電線類地中化の促進

質問 電線類地中化は、災害時に電柱が倒れ救急活動を妨げること防ぐと共に、埋設後に並木道を整備すれば景観の向上につながる。主要生活道路でも地中化を進めよ。

助役 16年度からの新たな整備計画に盛り込み、引き続き取り組む。緑の保全

質問 マンション開発などで減少する緑の保全が急務だ。道路沿いの壁面後退と緑化に応じ容積率を緩和する地区計画制度を活用せよ。

区長 緑を区民共有の財産と位置付け、積極的に保全に取り組む。防犯カメラ設置での十分な配慮

有効性が実証されており、公共の場への設置が進んでいる。プライバシーへの配慮や警察との協力のあり方など運用基準を明確にせよ。

生活文化部長 国や都の事例を参考に、地域の合意の下に取り組む。介護保険による予防事業の実施

質問 介護保険料の値上げにつながる給付費の増大を防ぐには、介護予防への取り組みが重要だ。介護保険事業の区独自サービスとして筋力トレーニングを実施せよ。

在宅サービス部長 次期介護保険事業計画の検討課題としたい。地域での精神障害者の自立支援

質問 国は、精神障害者の社会的入院の解消の推進を打ち出している。区も精神障害者の自立を地域で積極的に支援する体制を整えよ。

助役 相談機能の充実などきめ細やかな支援を行う。区立幼稚園のあり方

質問 区が区立幼稚園の廃止の検討を表明し、保護者は不安を感じている。検討に際しては、説明責任を果たすと共に、障害児の受入れなどの区立園の役割も考慮せよ。

教育長 保育園を含め、今後の幼児教育全体の課題を整理した上で、区立園のあり方を考えていく。子ども部の設置

質問 子ども施策は多くの部署で分担しており、縦割り行政の弊害もある。子どもの成長を支える一貫した施策の展開に向け、関係部署を統合した子ども部を設置せよ。

助役 新たな基本計画などの策定の中で検討していきたい。住基ネットでの個人情報保護対策

質問 住基ネットの本格稼働が始まったが、安全面の不安を理由に不参加を表明している自治体もある。区の管理体制を見直し、独自の個人情報保護対策を強化せよ。

区長 引き続き万全を期すと共に、国などに保護措置の徹底を求める。ネットワークの安全対策

事故が発生し、区民に不安が広がっている。個人情報を守るため、区のネットワークの外部監査を実施するなど安全対策に力を注げ。

政策経営部長 民間の知識や技術の積極的な活用を検討していく。都区財調制度の見直し

質問 23区の財源の均衡を目的とする都区財調制度の下で、区民の納めた税金の一部が他区に交付されている。少しでも多く区民に還元されるよう改善を強く主張せよ。

区長 助役 徴税努力などが交付額に反映されるよう働きかけろ。少子化対策への取り組み

質問 自治体や事業主に少子化対策の行動計画策定を義務付ける次世代育成支援対策推進法が成立した。区の基本計画などの整合を図り、実効性ある計画を策定せよ。

生活文化部長 世田谷らしい内容とし、基本計画にも反映させる。区独自の清掃事業の実現

質問 区長会が清掃工場未設置区を容認する方針に転じ、自区内処理の原則は覆された。区は、夜間収集など独自の事業展開に向け、完全移管への努力を続けよ。

区長 助役 自区内処理の原則に立ち、具体的な解決策を模索する。学校改築承諾料などの無償化要請

質問 国有地にある区立学校の借地料と増改築承諾料は、無償であるべきだ。国に強力に要請せよ。

区長 教育長 全国市長会など、あらゆる機会を通じ働きかけろ。痴呆性高齢者在宅介護の負担軽減

質問 痴呆の症状がある高齢者が在宅で介護する家族の負担は大変大きい。区独自のサービス提供や痴呆に対応できるヘルパーの確保に努め、家族の負担軽減に努めよ。

在宅サービス部長 専門相談や家族会活動の支援などを充実する。痴呆性高齢者用施設の充実

支えるためグループホームなどを充実すべきだ。用地提供など支援策を工夫し民間による整備を促せ。

助役 既存制度の活用に加え、効果的な支援方法などを検討する。地域行政制度のさらなる推進

質問 住んで良かったと思える世田谷を実現するには、住民主体のまちづくりが不可欠だ。地域に密着した施策の効果的な展開を目指す。地域行政制度を一層推進せよ。

区長 助役 基本理念を維持しつつ、時代に合わせ見直ししていく。食の安全の確保

質問 命や健康を守る食の安全の確保は、最優先の課題だ。生産者、消費者、行政が食品に関する情報を共有し、消費者の声を施策に反映させる仕組みを作れ。

助役 区民への情報提供や事業者の安全管理の支援に一層力を注ぐ。就学前の子育てビジョン

質問 区は区立幼稚園の廃止の検討を表明したが、十分な説明がなく区民は不安を感じている。就学前の子育て支援の方針を示せ。

区長 少子化対策の視点など多様な観点から検討している。区立幼稚園廃止に関する議論

質問 区立幼稚園の廃止は、障害児の受入れなど区立園が果たしてきた役割を踏まえた上で検討すべきだ。保護者や専門家などと共に、子どもを主体とした議論を尽くせ。

教育次長 検討すべき課題を庁内で整理することから始める。

9月17日及び18日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

民主党

山口 拓議員

生活者ネットワーク世田谷区議員

山本 きょう子議員

せたがや政策会議
田中 優子議員

新エイトライナーへの区長の見解
【質問】 長引く景気低迷により厳しい財政状況が続いているが、行政サービスの水準を低下させてはならない。行革の断行やさらなる財源確保に努めるべきであり、豊かな税源の確保を狙った自治体経営が不可欠だ。そのためには居住、教育、就労、観光などの多様な観点から魅力的なまちづくりの実現を目指す政策を展開すべきだ。

現在、区内の主な鉄道は都心に向けて東西方向に走るが、南北交通を充実すれば人の流れが変わり人が集うまちづくりが可能だ。大深度地下を利用し京王線、小田急線、田園都市線の既存の駅をつなぐ、新たなエイトライナー構想を提案する。大深度利用は土地の有権に影響されず直線的に整備できるため、通常の地下鉄より安価に建設できるとの試算もある。遠い将来ではなく10年後を見据え、新エイトライナーへの見解を示す。

区長 助役 エイトライナーの早期実現を国や都に働きかけると共に、15年度末までに区の基本計画審議会において新たな提案などを踏まえた議論を行い、目指すべき都市像を定めていく。

砧公園の積極的な活用
【質問】 砧公園の地下を利用し、防災拠点となる庁舎や区民施設を整備すべきだ。大深度エイトライナーの駅が設置され人が集まる場所になれば、収益性が高まりPFIによる施設整備も可能だ。都を説得し、砧公園の活用を実現せよ。

都市整備部長 10ha以上の公園は都の管轄になっており、都との再協議が必要であることや、区の負担が増加することなどから、今後の検討課題としていく。

をつなぐ南北交通が実現すれば、集客力が増し民間も参入しやすい条件が整う。大深度利用のエイトライナーの必要性を訴え、区内区間を優先着工するように都に求めよ。

都市整備部長 大深度地下の利用は技術面や経費などの観点から十分な検討を要するものであり、都や関係区との調整が必要だ。

職住近接のまちづくり
【質問】 大深度エイトライナーを実現し沿線に企業を誘致すれば、職住近接が促進される。通勤時間を短縮し家庭や地域で過ごす時間が増えることは、地域のきずなを深め、安全で安心なまちづくりにもつながる。自治体間競争の時代における重要施策として、職住近接のまちづくりに取り組め。

政策経営部長 職住近接により生じた時間を有効活用し地域に愛着を持ち生活できるまちを築くことは、重要な観点だと認識している。

区民の目線での議論の展開
【質問】 区内南北交通の充実が区民の願いであり、エイトライナーの早期実現に向け、議論を進めていくべきだ。まず、大深度利用による実現の可能性について、区民の目線で議論をしていくために区民意見を聞く機会を設けよ。

都市整備部長 大深度地下を利用することにも課題があり、実現に向けての議論が深まった中で適宜区民意見を聞いていく。

日本共産党世田谷区議団
里吉 ゆみ議員

区民福祉を守る施策展開
【質問】 国や都の福祉切捨てに追随した、区民負担を増やす行革はやめるべきだ。骨粗しょう症検診は対象者を縮小したが、予防重視の観点から若年層も含めて拡大せよ。

保健所長 転倒予防教室や生活習慣の改善の啓発などを行っていく。

二子玉川再開発の見直し
【質問】 莫大な税金を投ずる二子玉川再開発は見直すべきだ。準備組合がホテルなどの建設予定街区を当面の計画から外したのはなぜか。

玉川支所長 組合から昨今の社会情勢を考慮し、更に検討する必要が生じたためと聞いている。

住民が望まない道路整備の中止
【質問】 区は道路整備を経営方針の優先課題の一つに掲げたが、まず、不況に苦しむ区民の福祉増進に全力を挙げるべきだ。住民が望まない道路整備はやめよ。

鈴木 昌一議員(自民)

区立教育大学の設立
【質問】 安心して暮らせる地域社会を再生するためには、地域の人材を育てる教育の充実が不可欠だ。区立教育大学を設立するなど子どもを育てる人材の養成に力を注ぎ、独自の教育環境の創出に取り組む。

教育次長 保育園などと共に区立園のあり方を検討していく。

若者への労働者の権利の周知
【質問】 賃金が支払われないサービス残業を、違法行為だと知らずに強要されている若者が多い。労働者としての権利の周知に努めよ。

産業振興部長 関係機関と連携し、多様な方策を講じていく。

市内情報網のセキュリティ強化
【質問】 個人情報や業務情報網のウイルス感染事故が起きた。情報保護の徹底に向けたシステムの再構築など再発防止に万全を期せよ。

桜井 純子議員(生ネ)

NPOと連携した教育の推進
【質問】 総合的な学習の教育効果を高めるには、カリキュラム作成の段階から学校と専門性を持つNPOが連携した授業づくりが大変有効だ。実施校の拡大に取り組み。

NPOとの関係事業と連携
【質問】 市内の協働事業を推進する。

NPO活動拠点の整備推進
【質問】 NPO活動を一層活性化するためには、団体間の情報交換などの場となる活動拠点の確保が重要だ。統合後の池尻中の施設を活用するなど、拠点の拡充に努めよ。

DV被害者への対応の改善
【質問】 配偶者などによる暴力の被害者には、親身になった窓口対応が求められる。職員向けのマニュアルを作り、被害実態の正しい知識の習得と対応の向上を図れ。

職員研修を引き続き実施し、適切な対応を指導する。

竹村 津絵議員(生ネ)

地下水の水質の保全
【質問】 区は井戸水を飲用と位置付けていないが、災害時には飲用水として活用することも想定し、水質保全に取り組むべきだ。土壌に有害物質が埋められていた場合、長い時間を経て地下水にしみ出す可能性もある。水質検査の項目や回数を増やし監視を強化せよ。

地上緑化を優先した緑化指導
【質問】 緑化の推進では屋上や壁面の活用も重要だが、地下水の涵養やヒートアイランド現象の緩和などには地上の緑化が最も有効だ。マンションなどの建設時における敷地内緑化では、屋上や壁面の緑化は補助的手段と位置付け、地上の緑化を最優先に指導せよ。

15年度内を目標に屋上緑化の扱いを明文化すると共に、地上緑化を原則とした指導を行う。

羽田 圭一議員(社民)
【質問】 区は夜間収集を検討しているが、カラス対策は住民の協力が大きい。不法投棄の増加や清掃工場の搬入体制、費用対効果など課題も多い。十分に精査せよ。

多摩堤通りの危険なバス停の改善
【質問】 多摩堤通りの狭い土手の上にあるバス停は、待合場所が土手斜面になり大変危険だ。管理には都や事業者などが関係しているが、縦割りの対応を改め、改善を急げ。

一般質問

9月18日及び19日の本会議では28名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

鈴木 昌一議員(自民)
【質問】 安心して暮らせる地域社会を再生するためには、地域の人材を育てる教育の充実が不可欠だ。区立教育大学を設立するなど子どもを育てる人材の養成に力を注ぎ、独自の教育環境の創出に取り組む。

教育次長 保育園などと共に区立園のあり方を検討していく。

若者への労働者の権利の周知
【質問】 賃金が支払われないサービス残業を、違法行為だと知らずに強要されている若者が多い。労働者としての権利の周知に努めよ。

産業振興部長 関係機関と連携し、多様な方策を講じていく。

市内情報網のセキュリティ強化
【質問】 個人情報や業務情報網のウイルス感染事故が起きた。情報保護の徹底に向けたシステムの再構築など再発防止に万全を期せよ。

政策経営部長 運用管理体制の一層の強化を図っていく。

桜井 純子議員(生ネ)
【質問】 総合的な学習の教育効果を高めるには、カリキュラム作成の段階から学校と専門性を持つNPOが連携した授業づくりが大変有効だ。実施校の拡大に取り組み。

NPOとの関係事業と連携
【質問】 市内の協働事業を推進する。

NPO活動拠点の整備推進
【質問】 NPO活動を一層活性化するためには、団体間の情報交換などの場となる活動拠点の確保が重要だ。統合後の池尻中の施設を活用するなど、拠点の拡充に努めよ。

DV被害者への対応の改善
【質問】 配偶者などによる暴力の被害者には、親身になった窓口対応が求められる。職員向けのマニュアルを作り、被害実態の正しい知識の習得と対応の向上を図れ。

職員研修を引き続き実施し、適切な対応を指導する。

竹村 津絵議員(生ネ)
【質問】 区は井戸水を飲用と位置付けていないが、災害時には飲用水として活用することも想定し、水質保全に取り組むべきだ。土壌に有害物質が埋められていた場合、長い時間を経て地下水にしみ出す可能性もある。水質検査の項目や回数を増やし監視を強化せよ。

地上緑化を優先した緑化指導
【質問】 緑化の推進では屋上や壁面の活用も重要だが、地下水の涵養やヒートアイランド現象の緩和などには地上の緑化が最も有効だ。マンションなどの建設時における敷地内緑化では、屋上や壁面の緑化は補助的手段と位置付け、地上の緑化を最優先に指導せよ。

15年度内を目標に屋上緑化の扱いを明文化すると共に、地上緑化を原則とした指導を行う。

羽田 圭一議員(社民)
【質問】 区は夜間収集を検討しているが、カラス対策は住民の協力が大きい。不法投棄の増加や清掃工場の搬入体制、費用対効果など課題も多い。十分に精査せよ。

多摩堤通りの危険なバス停の改善
【質問】 多摩堤通りの狭い土手の上にあるバス停は、待合場所が土手斜面になり大変危険だ。管理には都や事業者などが関係しているが、縦割りの対応を改め、改善を急げ。

今後の区立幼稚園のあり方
【質問】 区立幼稚園の廃止の検討を区は表明したが、障害児の受入れなど区立園の果たしている役割は大きい。廃止を前提とせず、保護者など幅広い参加の下で検討せよ。

一般質問

木下 泰之議員(無党派)

小田急線連立化の調査結果の取得

【質問】 地裁で事業認可が違法とされた小田急線連立事業は、区も事業費を負担し当事者だ。都実施の連立事業調査で既に全面開示されたものも、再実施の下北沢区間の同調査も区は未だ入手していない。まちづくりに責任を持つ自治体として問題だ。どう対処するのか。

【質問】 必要な情報は都から提供されており、住民や関係機関と連携してまちづくりを進めている。

【質問】 旧復々線決定、実は地下鉄の決定

【質問】 行政は小田急線は1964年に東北沢喜多見間で高架複々線を決定と説明してきた。が、実は1962年の都交審6号答申の世田谷通りの地下鉄計画を強引に小田急線に貼り付けた地下鉄の路線決定であり、当時の高架複々線決定の文書は存在しないと判明。徹底検証せよ。

【質問】 高架方式での都市計画決定がされたと認識しており、抜本的な検証を行うことは考えていない。

栗林 のり子議員(公明)

学校運営方法の改善

【質問】 増加する少年犯罪を防ぐためにも子どもが心豊かに成長できる環境づくりが急務だ。学校が抱える問題を地域に公開し、改善策を学校間で競い合う仕組みを作れ。

【質問】 学校の透明性を高めるため外部評価の導入を推進していく。

【質問】 環境マネージャー制度の活性化

【質問】 区は各部署に環境マネージャーを置き省資源などに取り組んでいるが十分には機能していない。様々な工夫で成果を上げた部署を顕彰するなど、活性化策を講じよ。

【質問】 取り組み事例の発表の場の設定や顕彰制度の導入を進めたい。

【質問】 音楽療法の普及

【質問】 音楽療法の心身の働きを活性化させる音楽の特性を、リハビリなどに生かす療法だ。有効性のPRや、施設サービスでの積極的な活用などにより普及を図れ。

上川 あや議員(虹)

オストメイトへの十分な配慮

【質問】 オストメイトとは腸や膀胱の疾患のため腹部に排泄口を造設して生活する人のことで、排泄時の処理に手間が掛かる。気軽な外出や快適な日常生活を支えるため、区のアストメイト対応トイレの整備促進や自宅トイレの改修費助成など、区は率先して対応せよ。

【質問】 施設整備基準を見直し対応トイレの普及を図ると共に、助成の拡大を国や都に働きかけていく。

【質問】 他自治体との防災協定の拡充

【質問】 災害時の備えとして区が相互援助協定を締結しているのは、23区内の自治体と川場村だけであり、同時被災の可能性や人口規模の均衡を考えると不十分だ。区民の生命や財産を守るため、より多くの自治体と協定を締結するなど実効性のある体制づくりに努めよ。

【質問】 災害時の応急体制をより充実させるため、協力が得られる自治体との協定締結を検討する。

川上 和彦議員(自民)

外部評価による区政改革の推進

【質問】 財政状況が厳しさを増す中、区は外部委員による政策評価委員会を設置し、事業を総点検している。評価結果を行財政改革に生かし、抜本的な区政改革に取り組み、区民の意見を真摯に受け止め、改善につなげていく。

【質問】 単年度予算主義の見直し

【質問】 予算を年度内に使い切るという感覚から、節約して余った予算を翌年度に生かすという発想へ転換すべきだ。企業の経営感覚を取り入れ、独自の予算制度を作れ。

【質問】 より効率的な予算執行のあり方を検討し、工夫していく。

【質問】 柔軟な発想に基づくオウム対策

【質問】 オウム教団は多様な手段により信者の獲得を図るなど、活動を活性化させている。区は警察などとの連携に加え、まちづくりなどの視点から新たな対策を講じよ。

市川 康憲議員(公明)

新しい公共のあり方

【質問】 新しい公共の理念の下、防犯パトロールなど住民の公的活動が増えている。住民が担う領域が無制限に拡大しないよう、区との役割分担や責任範囲を再確認せよ。

【質問】 個々の事例について、協働のあり方を検討していく。

【質問】 休日、夜間の窓口業務拡大

【質問】 休日、夜間における区の窓口業務は一層の充実が求められている。窓口業務をサービス業ととらえ、利用者の視点に立って、取り扱い業務や開設時間を拡大せよ。

【質問】 世田谷公園のミニSSLの継続

桜井 征夫議員(社民)

被災後の生活再建支援

【質問】 災害対策の充実が急務だ。特に被災者の生活再建を支えなければまちの復興はあり得ない。住宅再建への公的支援など、独自の支援策を直ちに条例化せよ。

【質問】 国の動向を見守りながら区としての生活支援策を検討する。

【質問】 砧公園内への区立火葬場の建設を

【質問】 人間の尊厳が最後まで平等、公平に保たれてこそ、文化都市世田谷の名に値する。区内外の評価も高い世田谷美術館のある砧公園内に、区立火葬場を建設せよ。

【質問】 臨海部広域斎場を建設中であり区内への整備は課題としたい。

【質問】 公平な受益者負担のあり方とは

【質問】 区はサービスの受益者負担の適正化を進める方針を掲げている。所得格差が広がる中、生活実態や負担能力に配慮し区民の目線で公平な負担のあり方を見極めよ。

佐藤 弘人議員(公明)

清流復活事業の推進

【質問】 水辺は人々の暮らしに潤いや恵みをもたらす。都市化の進展で失われた中小河川などのせせらぎを取り戻すため、清流復活事業の推進などに全力で取り組め。

【質問】 地域特性を踏まえ新たな基本計画に位置付けて推進する。

【質問】 障害のある子どもへの支援の充実

【質問】 障害のある子どもが増加し解決すべき課題も山積している。相談件数が急増した総合福祉センターの児童相談の体制強化など、ニーズに応じた支援を充実せよ。

【質問】 ケアマネジメントシステムの構築

岸 武志議員(共産)

喜多見4丁目の公園の早期整備

【質問】 喜多見4丁目の公園予定地付近では、区道が整備され車の通行量が増加した。子どもが地域で安全に遊べるよう、予定地の暫定利用も含め公園の開設を急げ。

【質問】 11月に着工し、完成次第早期に使用できるようにしたい。

【質問】 成城学園前駅周辺の増設

【質問】 成城学園前駅周辺の放置自転車や乗用車を解消するためには、駐輪場の増設が不可欠だ。地下化された駅の地上部分を活用した設置などを鉄道事業者に要請せよ。

【質問】 引き続き取台数や位置などについて交渉していく。

【質問】 民間駐輪場利用料金の引下げ要請

【質問】 小田急線の駅周辺で鉄道事業者が経営する駐輪場は、区立に比べ日ごみ料金が高い。利用する区民の負担が公平となるよう、料金の引下げを粘り強く求めよ。

平山 八郎議員(自民)

まちの美化に対する意識の啓発

【質問】 区の役割は最小限に抑え、行政の肥大化を防ぐべきだ。自分たちのまちは自ら守るという自立心を啓発し、自宅前の道路清掃は住民に任せるなど協力を求めよ。

【質問】 まちの清掃美化を一層働きかけ、意識の高揚に努める。

【質問】 自転車の左側通行の徹底

【質問】 自転車は左側通行を義務付けられているが、守られないことが多く危険だ。子どもだけでなく、全区民を対象とした啓発事業を展開し、安全なまちをつくれ。

【質問】 警察などと連携し交通安全講習会などの拡大を図っていく。

山内 彰議員(自民)

区立校員の人事権委譲の要請

【質問】 区立校の教員の人事権は都にあるため、異動の際に区の事情が十分考慮されない。地域と連携した教育活動が途絶えることのないよう、権限の委譲を都に求めよ。

【質問】 早期に委譲されるよう、粘り強く取り組んでいく。

【質問】 倒木事故防止への取り組み強化

【質問】 緑道や並木などの古木が、朽ちて倒れる事故が起きている。区の管理する樹木を調査し、危険な樹木の手当てや植え替えを行うなど、事故の未然防止に努めよ。

【質問】 樹木医による調査を行い、適切な処置を講じていく。

【質問】 区境の街区案内板の表記の改善

【質問】 街区案内板には、隣接区の情報掲載されていないため、区境では利用しにくい。利便性に配慮し、掲載する地図情報に隣接区を含めるよう、早急に改善せよ。

新田 勝己議員(自民)

等々力駅周辺のまちづくりの推進

【質問】 等々力駅の改良工事は近々着工される予定だ。事業者が周辺住民の不安や要望にきちんと応えるよう、区は良好なまちづくりを進める立場から調整役を果たせ。

【質問】 地元の見解を聞きながら、周辺環境の整備に取り組む。

【質問】 大井町線地下化への取り組み強化

【質問】 線路によるまちの分断や開かずの踏切を解消すべきだ。等々力駅の地下化を契機に、沿線住民の願いである上野毛自由が丘駅の地下化に向け行動せよ。

【質問】 関係機関と検討会を立ち上げ、課題を整理している。

あべ 力也議員(民主)

ディーゼル規制適合車の使用徹底

【質問】 10月から都のディーゼル車規制が始まる。区は、公用車の環境負荷の軽減に努めてきたが、委託契約などの相手方に対しても規制適合車の使用を徹底せよ。

【質問】 適合車の使用を契約の条件とし、車検証などで確認する。

【質問】 環境美化への取り組み強化

【質問】 区はポイ捨て防止条例を定め、環境美化の啓発に努めてきた。環境美化推進地区だけで行ってきたキャンペーンなどを区内全域に拡大し、強力で推進せよ。

【質問】 啓発活動の範囲を一層拡大し充実を図っていく。

【質問】 歩行喫煙禁止策の具体化

【質問】 健康増進の観点から受動喫煙防止への取り組みを強化すべきだ。啓発活動だけでなく、歩行喫煙の禁止地区を設けるなど、実効性ある具体策を打ち出せ。

一般質問

菅沼 つとむ議員(自 民)

吉田 恵子議員(生 産)

高橋 昭彦議員(公 明)

増田 信之議員(公 明)

関口 太一議員(民 主)

下山 芳男議員(自 民)

生涯スポーツの推進

学校のアレルギー対策の強化

都営住宅の区への移管促進

増田 信之議員(公 明) 落書き防止活動への支援の強化

関口 太一議員(民 主) 地下室マンション建設の規制

下山 芳男議員(自 民) 学力調査結果の適切な活用

質問 地域でのスポーツ振興の取り組みは、高齢者の体力づくりや子どもの健全育成に加え、コミュニティの活性化にもつながる。場の確保など振興施策を強化せよ。

質問 ぜんそくなどのアレルギー性疾患に苦しむ子どもが増えている。シックスクールの防止だけでなく、アレルギー実態調査を行い発症を防ぐ取り組みを強化せよ。

質問 世田谷に住み続けたいという思いに込める住宅施策が必要だ。区民への住宅供給を拡大するため、具体的なスケジュールを示し、都営住宅の移管を促進せよ。

質問 まちの落書きなど小さな犯罪の防止が安心して暮らせるまちの実現につながる。住民の落書き消しの活動に区長自ら加わるなど、物心両面での支援に力を注ぎ。

質問 傾斜地を利用した地下室マンション建設から良好な住環境を守るべきだ。区は、緑豊かな国分寺崖線を守る条例の制定を検討中だが、全区的な規制にも取り組め。

質問 学力低下の改善には個々の学力の把握が不可欠だが、学力テストの結果が学校の選別につながることはない。性急なテストの実施や結果の公表には慎重を期せ。

質問 総合型地域スポーツクラブの設立支援などを計画的に進める。区内工業の振興

質問 一部の学校では、プール指導時に塩素液が入った腰洗い槽を使用している。子どもの健康に配慮して使用を中止し、代替として温水シャワーの設置を進めよ。

質問 区営住宅には、多くの高齢者が住んでいる。段差をなくし転倒の危険を減らすなど安全に暮らせる住居となるよう、バリアフリー改修工事を一層進めよ。

質問 既存資源を活用し多くの人が集うまちづくりを進め、地域の活性化を図るべきだ。緑道をフリーマーケットの会場として区民に提供し、にぎわいの創出に努めよ。

質問 区の補助金が同一団体に慣例的に交付され続け、既得権になることにより、区民の税金が非効率に使われるのは問題だ。区の補助金行政の見解を聞かせよ。

質問 不登校の子どもを減らすには、小学校低学年から子どもの変化に的確に対応することが重要だ。スクールカウンセラーと担任との密接な連携体制を築き取り組め。

質問 北烏山の朝日生命スポーツ施設跡地周辺の豊富な地下水は、烏山寺町の鴨池の水源にもなっている。開発に際しては保全に万全を期すよう事業者に強く要請せよ。

質問 病気の回復期などで保育園に通えない子どもを持つ家庭にとって、病児・病後児保育の充実が切実な願いだ。利用者の利便性を重視し各地域への施設設置を急げ。

質問 自転車は都市の短距離移動の手段として最も効率的だ。安心して自転車に乗れるまちをつくるため、交差点などでの事故を防ぐ、自転車用カーブミラーを設置せよ。

質問 清流を復活させた緑道にはシラサギが飛来する所もあり全国に誇れる環境だ。都市ビオトープとして効果的なキャッチフレーズで宣伝し観光資源として活用せよ。

質問 補助金の透明性を高め、真に必要な団体を活用される仕組みを作るべきだ。交付団体を募り、第三者機関による格付けを基に交付を決める公募制を導入せよ。

質問 在宅介護では家族の肉体的、精神的な負担が大きい。必要度が高い人を優先する特養ホームの入所基準の遵守や、ショートステイの拡充に努め負担を軽減せよ。

質問 保育サービス待機児の解消では、就労形態の変化などによる多様な保育ニーズにも応えるべきだ。現在はベビールームなど無認可保育施設も受け皿の一つとなっているが、行政の補助がなく保育料が高い。保護者負担軽減のため、保護者に対して保育料を補助せよ。

質問 オウム問題が長期化する中、近隣住民は平穏な暮らしを奪われ、日常的な騒音や臭気などに悩まされている。住民の不安解消と問題の抜本的な解決に一層力を注ぎ。

質問 区は、NPOなどによる移送サービス特区に認定されたが、参入条件が厳しく運営事業者が未定だ。サービスが必要な区民の実態調査を行うと共に、タクシー業との関係など諸課題を整理し、明確なビジョンを持って事業の着実な推進に取り組め。

質問 まちの落書き防止に向け、自由に絵を描ける場所を提供するなど地域の取り組みが工夫されているが、効果的な抑止力も必要だ。実効性のある罰則を設けよ。

質問 地域でのパトロール活動は犯罪抑止に効果的だ。活動費用の助成にとどまらず、相談機能を充実するなど活動団体をきめ細かに支援し、活動意欲を一層喚起せよ。

質問 地域でのパトロール活動は犯罪抑止に効果的だ。活動費用の助成にとどまらず、相談機能を充実するなど活動団体をきめ細かに支援し、活動意欲を一層喚起せよ。

質問 幼保連携型認定保育所への移行を促すなど、基盤整備を図る。

質問 区立幼稚園の廃止の検討が突然表明され、多くの区民が不安を感じている。今後区は、区民との対話を重視し、不安解消に向けて説明責任を果たせ。

質問 区立幼稚園の廃止の検討が突然表明され、多くの区民が不安を感じている。今後区は、区民との対話を重視し、不安解消に向けて説明責任を果たせ。

質問 公園でのボール遊びなどを一律に禁止せず、ルールを決めて許可すれば、社会規範を身に付ける機会にもなる。公園利用のあり方を再考し、制限を見直せ。

質問 区の補助金が同一団体に慣例的に交付され続け、既得権になることにより、区民の税金が非効率に使われるのは問題だ。区の補助金行政の見解を聞かせよ。

質問 区の補助金が同一団体に慣例的に交付され続け、既得権になることにより、区民の税金が非効率に使われるのは問題だ。区の補助金行政の見解を聞かせよ。

質問 区立幼稚園が私立園を補完する役目は終わったとし、区は廃止の検討を表明した。しかし、保育園を含め幼児教育のあり方を見直すというだけで、保護者の間に不安が広がっている。検討の期限や廃止の基準など具体像を明らかにせよ。

質問 区立中の老朽化したトイレや雨漏りする校舎などは、早急に改修すべきだ。生徒が学業に専念できるように、快適な学校施設の整備に取り組みたい。

質問 区立中の老朽化したトイレや雨漏りする校舎などは、早急に改修すべきだ。生徒が学業に専念できるように、快適な学校施設の整備に取り組みたい。

質問 年金支給開始年齢の引上げなどにより、高齢者への就業支援の重要性が高まっている。きめ細かな相談などを行えるよう、都の事業を活用し支援拠点を整備せよ。

質問 環8の渋滞緩和や生活道路の通り抜け車両を減らすには、外環道の整備が有効だ。予定地周辺の環境に十分配慮した上で、区は早期実現に積極的に取り組め。

質問 環8の渋滞緩和や生活道路の通り抜け車両を減らすには、外環道の整備が有効だ。予定地周辺の環境に十分配慮した上で、区は早期実現に積極的に取り組め。



会派等の意見のあらまし

14年度決算を審査するため、議長と監査委員を除いた全議員を委員とする決算特別委員会を設置し、7日間にわたり審査しました。このおこな意見表明者は次のとおりです。

自由民主党 世田谷区議員 新川勝二議員
民主党 富永早苗議員 上島よしもり議員
せたがや政策会議 木下泰之議員
社会民主党 世田谷区議員 桜井征夫議員
無所属 青空会 議員

公明党 世田谷区議員 岩本淑昌議員
生活者ネットワーク 世田谷区議員 西崎光子議員
日本共産党 世田谷区議員 岸武志議員
反政党・改革派 下条忠雄議員
レインボー 世田谷区議員 上川あや議員

小さな政府の実現を目指し さらなる区政の改革を

自由民主党世田谷区議員

(賛成意見)

バブル経済の崩壊後、区は厳しい財政運営を強いられ、財政の健全度を示す経常収支比率も一時は90%を超えるなど危機的状況が続いてきた。こうした状況を克服するには、限られた財源の有効活用が必要だ。民間との役割分担を一層進め、行政が真に担うべき施策を精査すると共に組織をスリム化し、小さな政府を実現すべきと主張してきた。この提言に基づき、行革条例を制定し行財政改革を進めたことが、経常収支比率のさらなる悪化を抑制したと確信する。

今後も行財政改革への取り組みを後退させてはならない。民間の経営感覚を取り入れ、補助金のあり方の再検討など、聖域を設けず大胆な事業の見直しを急げ。区長は職員の2割削減の方針を示したが、具体的な手法を明らかにすべきだ。現業職だけでなく事務職や福祉職などの削減も盛り込んだ新たな定員適正化計画を早急に策定し、着実に実施せよ。

地方分権が進む中、23区の自主性や自立性の確立が求められている。都区財調制度は自治法に規定されているが、制度疲労は否めな。まず、時代に適応したものに改善する必要性が都と23区の共通認識となるよう、取り組みを強化し、国を動かせ。

区民福祉の向上に積極的に取り組む職員が求められている。職員の意識改革に向け、年功序列など古い慣習を改め、成果を上げた場合は正当に評価し、それに見合った処遇を与えるなど、やる気を引き出し、能力を十二分に発揮できる仕組みを作れ。

区長会は清掃工場未設置区での工場新設の中止の方針を決めたが、自区内処理の原則を直ちに放棄したものではない。区は家庭ごみの夜間収集の早期実施など、独自の施策を一層展開できるように、清掃工場を運営する事務組合の抜本的な改革に取り組み。また、清掃工場設置区と未設置区の役割分担や経費負担のあり方なども区長会で議論せよ。資源の不当な持ち去りについても、清掃・リサイクル条例を改正し罰則を定めるなど、実効性ある防止策を早急に講じよ。

区民の安全安心を守るため、区が24時間安全パトロールを開始したことは評価する。今後も防犯対策を一層強化すべきだ。区民の防犯活動への気運がより高まるよう活動団体への支援を拡充せよ。また、まちの落書きの放置は大きな犯罪につながる可能性も高い。落書き防止に向け、関係機関と連携

し効果的な対策を打ち出せ。生活習慣病の予防事業の実施や喫煙対策の強化に取り組むことが喫煙の課題だ。自らの健康は自ら守るといふ基本に立ち、健康づくりに施策を一層充実せよ。

区立保育園の民営化は、各地域に1カ所ずつのモデル園を選定し実施することが示された。早期実施と実施園の拡大を目指せ。また、保育料の滞納が増え続けており、対策が急がれる。さらなる徴収の強化に全力を挙げよ。

区民の生命や財産を守る観点から、都市基盤の整備を進めることが重要だ。区長は都市計画道路や主要生活道路の整備を従来の倍の速度で推進することを表明したが、早期整備を目指し、強い決意で臨め。また、京王線や大井町線の開かずの踏切への対策に力を注げ。更に、交通不便地域の解消に強力に取り組むべきだ。関係機関と連携し、南北バス路線を拡充するなど、多様な方策を講じよ。

区立幼稚園廃止の検討が表明され、議会でも多くの議論が交わされている。我が党は幼児教育の必要性を否定するものではない。しかし、私立園を補完する目的で設置された経緯や、定員割れが常態化している現状から、区立園は役割を終えていると判断する。早急に幼児教育のあり方を示すと共に、施策の優先度を考慮した上で区立園の廃止を判断せよ。

教育の基本は、国を愛する心や人の命を尊ぶ心を育むなど人づくりにある。新学習指導要領の改訂など国の動向を見据え、区も教育改革を推進せよ。また、現在、課題となっている教員の資質の向上や学校部活動の一層の充実などに区が責任を持って取り組み。

区長の就任から5カ月が経過したが、区政の抜本的な改革に全力で取り組む姿勢がうかがえる。区長の理想とする世田谷の実現を目指し、強力なリーダーシップを発揮して区政を運営せよ。

間断なき行財政改革に取り組み 独自のセーフティネットの構築を

公明党世田谷区議員

(賛成意見)

長期にわたる経済の低迷や少子高齢化の進行に伴い人々に不安が広がっている。今こそ区長は強力なリーダーシップを発揮し、区民の安心と信頼を醸成する区政運営を行うべきだ。新区長の下、24時間安全パトロールの実施やすぐや課の設置など区政刷新への取り組みが進む一方、課税台帳の紛失や庁内情報網のウイルス感染など不祥事が続発している。行政は最大のサービス産業であるという原点上に立ち返り、区民の信頼回復に全力を挙げて取り組み。

今、区に求められているのは間断なき行財政改革だが、区民福祉向上の視点を失ってはならない。真に支援を必要とする区民を守る世田谷型セーフティネットを構築し、信頼と共助の地域社会を目指せ。区は、外部委員による政策評価委員会を総点検するとしているが、予算を削減しやすい事業から削減するという安易な見直しは行わない。政策評価は可能な限り数値化し、広く公表することさらなる改善につなげよ。

区の財政状況は厳しく、一層の経費削減が必要だ。職員の通勤手当は、1カ月定期券の額を基に算出しているが、割引率の大きい6カ月定期券の額を基に支給すれば経費を600万円削減できる。支給の根拠となる特別区人事委員会規則を改正するよう働きかけよ。

夜間保育など区民の多様なニーズにこたえるには、区立保育園への民間活力の導入が有効だ。区立園の民営化では、単なるコスト削減にとどまらず、保育サービスの一層の向上を実現せよ。

区独自の清掃事業のさらなる展

開に取り組みすべきだ。区長会は清掃工場未設置区への工場新設を行わない方針を示したが、18年度の清掃事業の完全移管への影響が懸念される。区長は完全移管の実現に全力を挙げよ。また、家庭ごみの夜間収集は民間委託も視野に入れ早急に実施せよ。

限られた財源の中で、着実にまちづくりを進めていくには、付加価値の高い事業を優先して着工する視点が重要だ。バスの通行を可能にし交通不便地域の解消につながる道路整備や、自転車道整備の空間を生み出す電線類の地中化など、行政の縦割りを排して取り組み。また、事業の実施に当たっては、区民への事前説明を徹底せよ。更に、事業終了後は、区民の満足度を指標として政策評価を行い、次年度以降の予算に反映させよ。

区の施設は、区民の共有財産であることを再認識すべきだ。区民利用施設以外の区施設の有効活用を検討する委員会を設置し、多目的な利用や休日・夜間の開放など、積極的な活用を図れ。

子どもの教育は、人格形成の基礎を培う重要なものだ。少子化や核家族化など、子どもを取り巻く環境が大きく変化の中で、家庭、地域、行政が一体となって成長をきめ細かく支える仕組みが求められている。子どもが健全に育つ環境づくりを一貫して支援し、統合的な施策体系を推進する子ども部を設置せよ。

区政運営の効率化を目指し さらなる行財政改善の推進を

民主党

(賛成意見)

区債の発行残高が130億円に及ぶなど、区の財政状況は依然として厳しい。行財政改善を更に進めると共に、財源の確保に向けた都区財調制度の改革などに力を注げ。



区民活動などへの区の補助金は、既得権化したものもあり見直すべきだ。交付団体を公募し第三者機関が内容を精査する仕組みを作れ。行政の効率化には、職員の個性や適性を考慮した人事配置が不可欠だ。適材適所の配置を徹底せよ。

清掃事業の移管では、自区内処理の原則を堅持し、区への完全移管を実現すべきだ。区の独自性を発揮し夜間収集を早急に試行せよ。

ポイ捨て防止を徹底すべきだ。環境美化推進地区を全区に拡大せよ。歩行喫煙の禁止も条例化せよ。

世田谷らしいまちをつくるには、都市景観と緑の保全が重要だ。国分寺崖線を保全する条例は、区民参加により検討を進めよ。

高齢者が住み慣れたまちで安心して暮らせるよう、ショートステイやグループホームを増設すべきだ。目標数を定め着実に整備せよ。

保育や介護保険の第三者評価制度の構築が進められている。施策への客観的な評価を徹底するため、すべての分野への導入を急げ。

区立保育園の民営化は、保育の質の確保や保護者の合意形成、子どもの不安解消に留意して進めよ。地域と一体となって独自の教育を実践すべきだ。教育改革を支える教員の人事権委譲を都に求めよ。職員の不祥事が続く中、パソコの不正購入が発覚した。事実解明と情報の公開を強く要望する。

決算審査の中で様々な提案を示してきたが、区長は真摯に受け止めてきた。16年度予算編成に的確に反映せよ。



区の財政状況は依然として厳しく、行政運営の見直しなどに引き続き取り組むべきだ。NPOなどによる第三者評価を行い、区民を顧客ととらえる視点で行政サービスの充実に努めよ。また、職員の不祥事が相次いでいるが、自治体職員としてのあり方を問い直し、意識改革を徹底せよ。

区長はリーダーシップを発揮し、区長退職金制度の廃止や独自の清掃事業の展開など、従来成し得なかった試みに果敢に挑戦せよ。

区は区立幼稚園廃止と区立保育園民営化の検討を表明したが、行革という一面だけで問題をとらえてはならない。就学前の子どもにとって何が重要なのか、保育と教育双方の観点から十分に議論せよ。

増加する痴呆性高齢者への対応が急務だ。在宅で介護する家族への支援などを強化せよ。また、高齢者への虐待を早期に見出す仕組みづくりや、一時保護に対応できるショートステイの確保に努めよ。更に、ゲームなどを活用した痴呆予防プログラムを普及させよ。

不登校の子どもが増えている。すべての子どもが教育を受けられるよう、インターネットを活用した支援など、多様な方策を講じよ。宅地開発などにより民有地の緑が減少している。実効性のある保全策を検討せよ。また、学校の屋上や壁面の緑化は環境学習にも有効だ。一層推進せよ。

行政運営を区民の視線で見直し満足できる行政サービスの提供を

生活者ネットワーク世田谷区議団
(賛成意見)

「自治体が政策で競う時代」にふさわしい街づくりを進めよ

せたがや政策会議
(賛成意見)

14年度は就学援助費の削減など、区民に負担を強いる一方で、二子玉川再開発や庁舎建設などのために基金を積み立てた。このような一般会計などの決算認定には反対

日本共産党世田谷区議団
(一般会計と国保会計と介護会計には反対、その他の会計には賛成する意見)

開発優先の区政運営を改め区民の暮らし、福祉を守れ

日本共産党世田谷区議団
(一般会計と国保会計と介護会計には反対、その他の会計には賛成する意見)

自立した都市として、明確なビジョンが必要である。現在の財政状況では行政の基本である区施設(既存分だけでも)の維持すら困難である。区政の抜本的な見直しが必要だ。このような点から「せたがや政策会議」として以下の6つの提案をする。

- ① スケルトン・イン・フィル(100年もつ建築技術)を導入し、持続可能な財政計画と公共施設計画を策定せよ。
- ② 自治体間競争に勝てる人材計画を作れ。(民間頭脳を取り入れよ。)
- ③ 地域に信頼される区立学校の確立を急げ。(教員の人事権を都から区へ委譲せよ。)
- ④ 福祉の原点に立ち、時代に合った「弱者の再定義」を定める。
- ⑤ 職住近接(通勤時間を短くする)の街づくりを世田谷区の基本方針として提唱せよ。
- ⑥ 株式会社を見直せ。(62億円の年商は区からの委託事業が大半。)もはや区にとって有益ではない。抜本的改革を進めよ。

以上、28年ぶりの新体制のもと「ヨドミ・シガラミ」なき新たな世田谷区政に期待します。

大場区政の腐敗体制を一掃せよ

反政党・改革派
(反対意見)

職員の不祥事が次々噴出し、一人の男が長期間区長を務めた結果だ。区長選では体制を存続させるため前助役が立候補し幹部職員などが応援したが、熊本区長は黙認し、引き続き登用した職員もいる。これでは区政の流れは変えられない。けじめをつけよ。

区政のよどみ、しがらみを正せ

無党派市民
(反対意見)

区長には前区政のよどみ、しがらみを正す姿勢が見られず問題だ。区立幼稚園は時代に即した幼児教育の使命を担うためにこそ存続せよ。基本健康診査では、医師会への高額委託単価を是正せよ。違法な小田急線高架連立は地下に換え、道路整備を抑制し住環境を守れ。

想像力と柔軟性のある区政運営を

レインボー世田谷
(賛成意見)

区民の生活実感や危機感を的確にとらえ住みたいと感じられるまちにしていくべきだ。職員は机上の職務をこなすだけでなく、区民の立場で区政に欠けているものを想像できる心の目を養え。組織の柔軟性の欠如が区民福祉の向上を妨げることを認識し改善に努めよ。

区民にとって分かりやすい区政を

無所属
(賛成意見)

経済情勢が厳しい中で様々な事業を展開しているが、区民にはあまり理解されていない。区民の意見を区政に反映させるためにも、担当部署が複数にまたがる課題の解決に向け、縦割りの発想からは脱却し全庁を挙げて取り組み。



安心して暮らせる世田谷の実現を

社会民主党世田谷区議団
(賛成意見)

地方分権が進む中、区の担うべき役割は増大しており、安定した財源の確保が不可欠だ。都区財調の配分方式の改善などに力を注ぎ、青年の自立を支える環境づくりが重要だ。青年政策を次期基本計画に盛り込め。また、道路整備は区民参加により生活道路の整備を優先して進めよ。更に、安全安心まちづくり施策の推進では、個人の権利を侵害しないよう配慮せよ。福祉サービスでの区民負担は生活実態に合わせるべきだ。能力に応じ負担し必要に応じてサービスを受ける、応能負担を基本とせよ。

大場区政の腐敗体制を一掃せよ

反政党・改革派
(反対意見)

職員の不祥事が次々噴出し、一人の男が長期間区長を務めた結果だ。区長選では体制を存続させるため前助役が立候補し幹部職員などが応援したが、熊本区長は黙認し、引き続き登用した職員もいる。これでは区政の流れは変えられない。けじめをつけよ。

区政のよどみ、しがらみを正せ

無党派市民
(反対意見)

区長には前区政のよどみ、しがらみを正す姿勢が見られず問題だ。区立幼稚園は時代に即した幼児教育の使命を担うためにこそ存続せよ。基本健康診査では、医師会への高額委託単価を是正せよ。違法な小田急線高架連立は地下に換え、道路整備を抑制し住環境を守れ。

想像力と柔軟性のある区政運営を

レインボー世田谷
(賛成意見)

区民の生活実感や危機感を的確にとらえ住みたいと感じられるまちにしていくべきだ。職員は机上の職務をこなすだけでなく、区民の立場で区政に欠けているものを想像できる心の目を養え。組織の柔軟性の欠如が区民福祉の向上を妨げることを認識し改善に努めよ。

区民にとって分かりやすい区政を

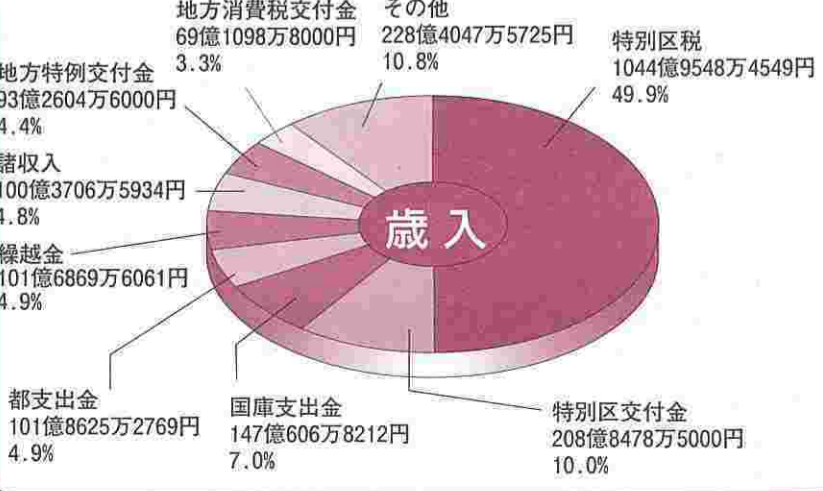
無所属
(賛成意見)

経済情勢が厳しい中で様々な事業を展開しているが、区民にはあまり理解されていない。区民の意見を区政に反映させるためにも、担当部署が複数にまたがる課題の解決に向け、縦割りの発想からは脱却し全庁を挙げて取り組み。

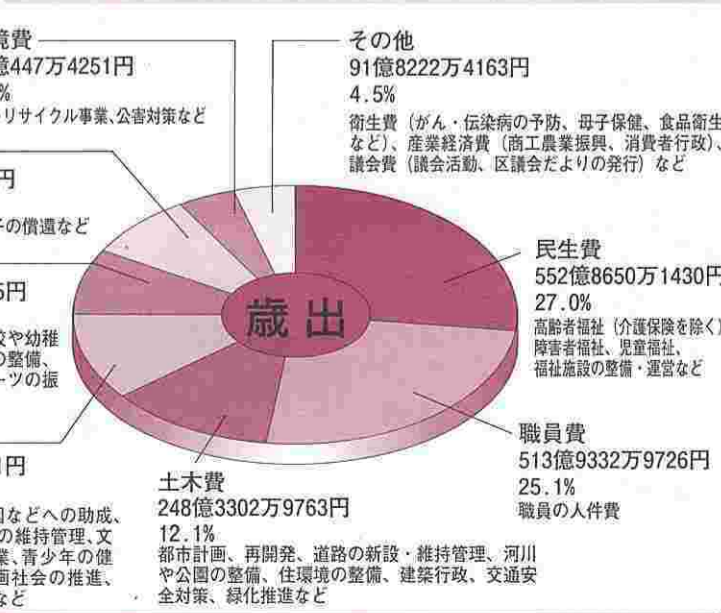
●平成14年度各会計決算額●

	歳入決算額	対前年度比 伸び率 (%)	歳出決算額	対前年度比 伸び率 (%)	歳入歳出差引額
一般会計	2095億5586万2250円	-9.4	2046億7183万1387円	-7.4	48億8403万 863円
国民健康保険事業会計	556億9590万9387円	3.3	550億9114万 351円	3.0	6億 476万9036円
老人保健医療会計	622億5149万6367円	0.4	620億1389万9236円	-0.0	2億3759万7131円
介護保険事業会計	280億 627万6199円	10.7	279億4149万7619円	14.3	6477万8580円
中学校給食費会計	3億9811万5982円	-11.0	3億9558万6739円	-11.3	252万9243円
計	3559億 766万 185円	-4.6	3501億1395万5332円	-3.1	57億9370万4853円

一般会計決算の内訳 (%=構成比)



平成14年度 決算のあらまし



第4回定例会は11月下旬から12月上旬まで開催の予定です。

閉会中に開催された委員会

- 7月 1日(火) 議運
- 3日(木) 企画、区民、都市、文教
- 4日(金) 福祉、都市
- 14日(月)～16日(水) 区民(視察)、福祉(視察)、文教(視察)
- 16日(水)～18日(金) 企画(視察)、都市(視察)
- 24日(木) 分権
- 28日(月) 企画、区民、文教、清掃
- 29日(火) 福祉、都市
- 8月 4日(月) 交通
- 22日(金) 議運
- 9月 3日(水) 企画、区民、文教
- 4日(木) 福祉、都市、文教(視察)
- 5日(金) 分権、オウム(視察)、清掃、交通
- 9日(火) 議運

会期中の主な会議日程

- 9月17日(水) 議運、本会議(代表質問)
- 18日(木) 本会議(代表質問、一般質問)
- 19日(金) 本会議(一般質問、議案の付託、請願の付託)、決算
- 22日(月) 企画、区民、文教
- 24日(水) 福祉、都市
- 25日(木) 分権、オウム、清掃、交通
- 29日(月) 議運、本会議(議案の議決)
- 10月 1日(水) 決算(総括質疑)
- 2日(木) 決算(企画総務委員会所管分)
- 6日(月) 決算(区民生活委員会所管分)
- 7日(火) 決算(福祉保健委員会所管分)
- 9日(木) 決算(都市整備委員会所管分)
- 10日(金) 決算(文教委員会所管分)
- 15日(水) 決算(補充質疑)、企画
- 20日(月) 議運、本会議(議案の付託、議案の議決、請願の付託)、企画

委員会名称

- 議運=議会運営委員会
- 企画=企画総務委員会
- 区民=区民生活委員会
- 福祉=福祉保健委員会
- 都市=都市整備委員会
- 文教=文教委員会
- 分権=地方分権・庁舎問題等対策委員会
- オウム=オウム問題・防犯対策委員会
- 清掃=清掃・リサイクル対策委員会
- 交通=公共交通機関対策等委員会
- 決算=決算委員会

請願

皆さんから出された請願・陳情をお知らせします。

新しく出されたもの

◆企画総務委員会で審査するもの 4件

- 金子容子さん救出に関する陳情
- 浜岡原発震災を未然に防ぐことを求める陳情
- 都市計画税の軽減措置の継続につき意見書等の提出を求める請願
- 小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税の減免措置の継続につき意見書等の提出を求める

(全員賛成)

不祥事件の発生に関連し、区長及び担任助役の7月の給料を10%減額した。

党派等の略称

- 自民=自由民主党世田谷区議団
- 公明=公明党世田谷区議団
- 民主=民主党
- 生ネ=生活者ネットワーク世田谷区議団
- 政策=せたがや政策会議
- 共産=日本共産党世田谷区議団
- 社民=社会民主党世田谷区議団
- 反政=反政改・改革派
- 無党=無党派市民
- 虹=レインボー世田谷無所属
- 無所=無所属

◆区民生活委員会で審査するもの 2件

- 羽根木地区における地区会館等設置に関する陳情
- 東京信用保証協会など金融機関の「任意売却」「競売」「貸しはがし」をやめ、大好きな商売・仕事を続けさせて!についての請願

◆福祉保健委員会で審査するもの 2件

- 無年金定住外国人に対する福祉特別手当に関する陳情
- (仮称)鳥山メモリアルガーデン墓地建設に反対する陳情

◆都市整備委員会で審査するもの 7件

- 都市計画道路補助第128号線街路拡張工事に反対する陳情
- 奥沢地区に自転車置き場の確保を求める請願
- 東京電力変電所ならびに隣接するマンション計画に関する請願
- 世田谷区赤堤4-25に建築中の「14-東民施A-5号」の建築計画見直しに関する請願
- 世田谷区北鳥山7丁目、三鷹市牟礼に計画されている住友不動産によるマンション計画についての陳情
- (仮称)野沢共同住宅建設工事に関する陳情

◆世田谷区建築行政の改善を求める陳情

◆文教委員会で審査するもの 2件

- 世田谷区立幼稚園の存続を求める陳情
- 教育基本法及び教育振興基本計画について徹底議論を願う請願

正副委員長の内選結果の報告

○決算特別委員会

委員長 菅沼つとむ(自民)

副委員長 岩本 徹昌(公明)

副委員長 富永 早苗(民主)

自由民主党世田谷区議団	16人
公明党世田谷区議団	11人
民主	6人
生活者ネットワーク世田谷区議団	5人
せたがや政策会議	4人
日本共産党世田谷区議団	3人
社会民主党世田谷区議団	2人
反政改・改革派	1人
無党派市民	1人
レインボー世田谷	1人
無所	1人
合計	51人

(欠員1人)

議員の辞職と党派等の構成の変更

小野裕次郎議員(民主)は、9月8日付けで、区議会議員を辞職しました。この結果、区議会の党派等の構成は、次のとおりになりました。

○世田谷区建築行政の改善を求める陳情

○文教委員会で審査するもの 2件

- 世田谷区立幼稚園の存続を求める陳情
- 教育基本法及び教育振興基本計画について徹底議論を願う請願

正副委員長の内選結果の報告

○決算特別委員会

委員長 菅沼つとむ(自民)

副委員長 岩本 徹昌(公明)

副委員長 富永 早苗(民主)

議員の住所変更

富永 早苗(民主)

新住所 世田谷3-16-16
TEL(三四二九) 四四五五

吉田 恵子(生ネ)

新住所 駒 沢2-18-4-201
TEL(五四三〇) 九六九九

編集後記

○今定例会では、34名の議員が、安全安心まちづくりの取り組みや教育問題など、区政の様々な課題について質問を行うと共に、平成14年度決算を審査しました。

○区議会定例会は、3、6、9、11月の年4回開かれます。傍聴にお越しになり、直接会議の様子をご覧になってはいかがでしょうか。また、総合支所と文化生活情報センター内の市民活動支援コーナーでは、本会議や予算・決算特別委員会の様子を生中継しています。更に、区議会ホームページでは生中継や録画中継も行っています。ぜひ、ご覧ください。

○これからも、区議会の活動が区民の皆様にとって親しみやすいものになるよう、議会広報の充実に努めていきます。

○目の不自由な方のために、区議会だよりのテープ版を発行しています。お知り合いでご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

○本紙に関するお問い合わせは、区議会事務局調査係までお寄せください。

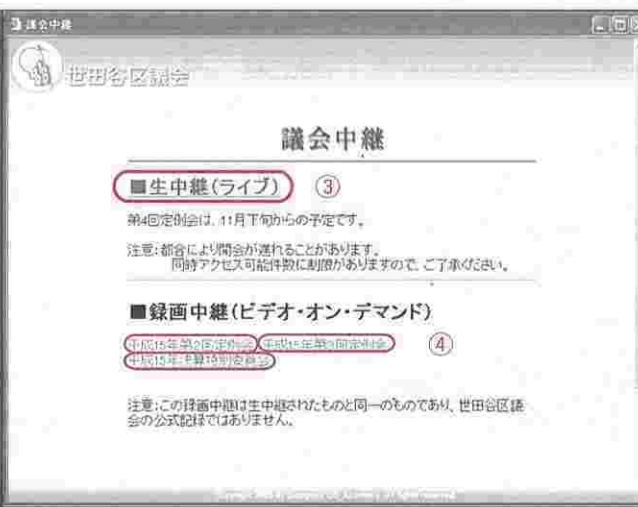
TEL(五四三二) 一〇一代表
FAX(五四三二) 三〇三〇

本紙に掲載された質問、答弁の詳しい内容や決算特別委員会での質疑についてお知りになりたい方は、会議録(本会議の分は11月下旬、決算特別委員会の分は12月中旬の発行予定)をご覧ください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所などに備えてあります。また、ホームページでもご覧いただけます。

インターネット中継をご覧ください

- 中継を見るには?
- ①区議会ホームページにアクセス
<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/>
 - ②トップページの左上にある「議会中継」をクリック
 - ③■生中継(ライブ)をクリック
または
 - ④■録画中継(ビデオ・オン・デマンド)の会議名をクリック

もっと身近な区議会に!



中継する会議は?

- 本会議(次回は11月下旬からの予定です)
- 決算特別委員会(10月)
- 予算特別委員会(3月)

中継の種類は?

- 生中継(リアルタイムで見られます)
- 録画中継(好きな時間に、議員別に見られます)